

光中学校から米国の姉妹校 メイビル中学校へ

平成2年に千葉県とアメリカ合衆国・ウイスコンシン州が姉妹州の提携をしたことにより、児童生徒の交流を通じた友好親善を深めるため、光中学校はウイスコンシン州にあるメイビル中学校と平成3年に姉妹校となり、平成6年度から毎年先生と生徒が訪問しています。

今年は1年生3名、2年生3名、引率の先生1名で、9月23日から30日まで訪問し、現地でのホームステイや授業参加、小学校・高校訪問などさまざまな体験をして帰国しました。



メイビルの教育を見て

光中学校教諭 田中 竜太

九月二十三日から三十日までの八日間、アメリカ合衆国ウイスコンシン州にあるメイビルミドルスクールへの交流訪問を行った。今回の訪問は合併後最初の訪問で、参加生徒も一・二年生各三名、合計六名と昨年までの倍の人数になった。今回の訪問では、月曜日から木曜日までの四日間メイビルミドルスクールの授業に参加した。その中で特に印象的だったのは、演劇の授業である。二人の生徒がステージに上がり、台本にしたがってショートストーリーを演じる。どの生徒も身振り手振りを交えながら、工夫して演技していた。言葉がわからなくても、状況が見えてくるような気がした。日本でも自己表現の



大切さを教えてはいるが、幼い頃から系統立てて身につけさせていくところはアメリカらしいと感じた。また、生徒・教師ともに授業に対する姿勢がすばらしいと感じた。生徒はどの授業でも、私語もなく集中



して学習に取り組んでいた。教師も工夫して授業を行っていた。生徒も教師も一時間一時間の授業を大切にしている様子を感じられた。ぜひ見習ってほしいという気持ちをもった。

最初は緊張気味で、なかなか会話をすることができなかった生徒も、日が経つにつれ積極的に現地の生徒との交流を進め、言葉の壁も感じさせなくなってきた。最終日には、大粒の涙を流しながら別れを惜しんでいた。生徒にとってはもちろん、私にとっても非常に刺激的で有意義な一週間であった。